

たくさんの人に 参加してもらいたい

募集は4つの部門で行われました。プロジェクトメンバーは、「絵が得意な人だけではなく、得意じゃない人でも参加できるようにしたかったです。たくさんの方に関わってもらおうことで、より多くの人に愛着をもってもらえたらと思って。」と話します。

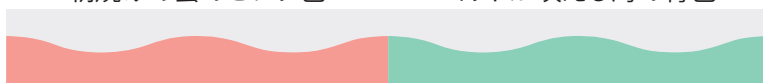
応募が全然ないかもしれないという心配をよそに、市内外から94ものデザインが集まりました。そこから、デザインを絞り込み、季節順に並べます。そして両端はゲストアーティストである絵描きの町田さんが担当することになりました。



使う色はこの6色 /

朝焼けの雲のピンク色

ヨットが映える海の青色



浅瀬の海の水色

色づき始めたみかんの黄色

夜のとばりがおりた海の紺色



堤防アート始まる

2024年11月3日、オープン参加の日がやって来ました。「青島」「はるみ」「健康マラソン」「メヒカリ」をテーマに思い思いの絵を描き、個性の光る区画が完成。小さな子どもでも参加できるということもあり、予想をはるかに上回る730人が参加しました。翌週からは制作が本格的にスタート。普段より大きいサイズのキャンバスに、戸惑う姿も見られましたが、参加者1人ひとりがアーティストとなって、制作を進めます。名古屋から参加した家族は、「自分のまちでもこういう企画があったらいいのに。」と楽しそうに筆を動かしていました。



制作日は、11月の金・土・日。雨風で思うように制作が進まない日もありましたが、参加者たちは何度も堤防に足を運び、少しずつ仕上げていきます。「あいさつを交わすうちにほかのグループの人とも話すようになって。絵を描くだけじゃなくて、交流できたのも楽しかったです。」
気がつけば、堤防のあちこちに笑顔が広がり、完成に向けて生まれる一体感。プロジェクトメンバーも、「参加者の皆さんが仲間のよう感じられて、心強かったですね。」と話します。日を追うごとに彩りが増す堤防。完成はもうすぐです。

